



Hiroshima City University Language Center

広島市立大学語学センター
Newsletter No.26 (2006.7.3)



ブルガリアから来日！日本語弁論大会優勝者の学習法



「民族国家論」講義で日本語披露

5月11日、ブルガリアから21歳の日本語弁論大会優勝者（エミリヤさん 大学3年生）が、広島市立大学の講義、「民族国家論」に参加しました。その講義で、日本語学習における秘訣や数々のブルガリア秘話を語ってくれました。

目次：

ブルガリアから来日！	1
裏切りトンネル訳話 04	2
コラム：情報 北村先生	3
Virtual Learning Environment	3
新センター長に宇野先生	4

日本語学習歴“2年半”

日本語の勉強を始めたのは、大学に入学してからというエミリヤさん。約2年半の学習で見事日本語弁論大会優勝者になったという、かなりの実力の持ち主。民族国家論の講義では、「みんなの言うことの“6割”しか分かりません」と言う傍ら、学生からの質問には日本語で流暢に受け答えをしていました。

「どうして日本語を勉強しようと思ったのですか？」という学生からの質問に対して、「なぜだか分かりません。ただ毎日勉強しています」と苦笑いをしながら受け答えしている姿は、弁論大会優勝者という硬いイメージを打ち破り、日本語を話せることを純粋に楽しんでいるように見えました。私たちも外国語を習得するには、まず会話ができることの楽しさを実感する必要があるのかもしれない。

しかし、2年半で流暢に日本語で会話ができるようになった陰には何か日本語学習においての秘訣があるはずです。エミリヤさんはどのように、日本語を短期間で習得したのでしょうか？

とにかく丸暗記

日本語学習を始めた最初の1年はとにかく目・耳にした日本語を全て丸暗記していたそうです。なんと、シンプル！エミリヤさんの大学には日本語の先生が2人しかおらず、最初は大変だったそうですが、文法が分かるようになると、あとは文法に従って、文章を自分で作れるようになったといいます。努力に勝る上達への道はないということでしょう。しかし、外国語学習者は本気でやれば、2年後にはエミリヤさんのように外国語の達人になれる可能性もあるのです。みなさんも諦めずに、外国語上級者を目指して、チャレンジを続けていきましょう。

日本語実践はお土産屋のアルバイト

エミリヤさんがブルガリアで学んだ日本語を実践できる場合は、ホテルのお土産屋でのアルバイト。日本人の観光客が1番多く、特に“おばさん”がダントツに多いそうです。日本からの観光客と接する機会は、絶好の会話練習の時間。「日本に初めて来日して、あまりカルチャーショックを受けなかったのも、今までの会話練習が活かせて、街行く日本人と普通に話ができたからかもしれない」と、初めて日本に来て、日本語で意思疎通ができることの喜びを表していました。

エミリヤさん、驚きの日本

「日本に来て、自動販売機や自転車の多さ、コーヒーの値段が高いことには驚きました。中でも、雨の中、傘を差しながら自転車を運転している姿が一番の驚きです！！」と語っていました。日本にいと、「indifferent」なことでも、外国からの視点では「interesting」になることが多々あるのですね。



(写真：民族国家論
エミリヤさん右端)

*ブルガリア情報

人口	776万人（2004年、国家統計局）
首都	ソフィア
民族	ブルガリア人（約80％）、トルコ系（9.7％）、 ロマ（3.4％）等
言語	ブルガリア語
物価	日本の10分の1(e.g. コーヒー 30円)
月給	1～2万円

裏切りトンネル訳話 04

大小説 Pride and Prejudice (2)

前回のラストは、癩癩玉の破裂とともにリジー(エリザベスの愛称)がダーシーの求婚を拒否するシーンでした。「ああ、あの場面の何度読んでも痛快なこと!」と水村美苗は言います。水村美苗はこの小説こそ「最良の意味での女の小説」なのだと宣します。

P&P(略称です)は、自己と自分に近い他者(恋人ダーシー、友人シャロット。狭い範囲です)への認識の変革のドラマです。時代と地域を限定した、(重ねて狭い範囲での、両親、姉妹、親戚などの)コミュニティの観察に基き、交際の処し方に即し「品格」と「礼儀」を再考察させるドラマです。筋の主軸は求婚拒否から再求婚受諾までの愛の軌跡。ノンからオーケーに至る過程でリジーもダーシーも自己変革したのです。他の登場人物の性格は変わりません。ヒーローとヒロインのみ人格が成長したのです。この小説で読者の溜飲が下がるのはリジーの拒絶場面です。1は、述べてきたダーシーに対して、「もっと紳士らしくなすつたら」この思いもよめことばはダーシーの肺腑をえぐるのです。

2は、ダーシーとの婚姻を潰そうとする名門の叔母キャサリン夫人に抗して。「わたくしは、わたくしの考えで、こうすれば自分の幸福になると思うそのやり方で、一切やっていくつもり」。自立した一個人なのである。リジーには「ただ金と地位だけのりっぱさ」は通用しないのである。そして3、俗物コリンズに。だがコリンズはこりない。

友人シャロットが保障された楽な生活のために「金のため」「打算的」な結婚を選択した時のリジーの思い...「コリンズ夫人シャロット!なんというそれは、悲しい風景だろう。しかも、いわばみずからの手でみずからを辱めてゆく友」(中野好夫訳) この個所も感銘は深い。

友情の破綻? しかしリジーは一貫して賢明なシャロットの家庭運営を目にすることで反省し更に思索を深めます。中野好夫訳の巧さかもしれません。

さてようやく翻訳話。現状P&Pの日本語翻訳者は中野好夫(新潮文庫)、阿部知二(河出文庫)、富田彬(岩波文庫)、伊吹知勢(講談社文庫)、中野康司(ちくま文庫)である。2003年の中野康司訳は的確平易で簡潔な最新訳業として隅に置けぬという認識はあるが、ここではおなじみの中野好夫訳に絞る。

中野好夫訳はさばけた、くだけた口調に訳語の特色と訳者の個性がある。

「よござんすか」「山家育ち。バカで無学で」「仏心」「顔を見るのも胸くそがわるい」「おひゃらかしてる」「チャホヤされる」「鼻もひっかけてもらえない」。

読者サービスを心がけていると思う。読み手の日本庶民の俗生活の実地のことばにいわば訳しすぎている。俚

言化したい志向がある。一方で、例えば「画竜点睛」という漢字熟語も使われるのだが、勢いがあってよどみがない、つまり「雄渾」な語調を尊重している。

阿部知二訳を対比の参考にする。同一個所を阿部訳Aを先に示し次に中野訳Nを紹介する(最初のは父に

対する「サンキュー、サー」のサー)。

A「お父さま」N「パパ」。

A「傷心といったひびきがありますよ」N「てっきり失恋女かしらと思われてよ」。

A「人間なんか何でしょう」N「男なんてなによ」。

A「たぶらかした」N「たらしこんだ」。

ジェンダー観点で切りえる。阿部訳が品よくエレガントでいわば女性読者向けであるのに、中野訳は世慣れた年輩者に親近することば使いであろう。もうふたつ、リジーの心中のモノローグ。

A(失礼な人!) N「チェッ、失礼ねえ」。

A「でも、わたしはそうしますというのじゃありませんよ」と手紙を書きおわりながら、彼女はひとりごとで言葉をつけ加えた、N「とって、そんなことするもんか」彼女はいまいましげに舌打ちしながら、手紙を書き終った。

「チェッ」という舌打ちも、いまいましげな舌打ちも原文にない。

中野好夫は原文にはないことを「口拍子」でやってしまうのだ。証拠はその著作『英文学夜ばなし』(岩波書店同時代ライブラリー、93年)「翻訳雑話」で告白するところ。

シェークスピアやモームをはじめ中野好夫の旺盛な訳業はよく知られているが、P&Pの翻訳は「いちばん困った代物」と述懐している。中野好夫の地声が息づいているような訳文の点検は文人中野好夫論の重要資料ともなる。紳士の娘として上品さを崩さぬはずのリジーが少々逸脱してオチャッピーと化しても、倍加されたユーモラスとして許せる。「面目玉」がりきんだり「癩癩玉」が暴発したり。

(芸国斎01B)



図は姉が描いたオースティンの肖像。
London National Portrait Gallery蔵

ミニコラム 外国語に想う【21】

「横メシと話題」

情報科学部教授

情報処理センター長 北村 俊明



私が企業にいたときには、米国の技術者と一緒に仕事をするのが多かった。仕事上の議論は、技術用語や図面、プログラム言語を駆使すれば、語彙が少なく英語が苦手でもことは足りた。ところが、あるベンチャー企業の創設者夫妻がディナーに招待してくれた時は困った。私は創設者夫人の横に座らされたのだが、夫人とは仕事の話もできず、話題がない。夫人が、「彼は、私にプロポーズしたクリスマスに1日中クリスマスソングを歌ってくれたの」などと話を振ってこられても、言葉が出てこず、これほど疲れた「横メシ」は無かった。とある上司との雑談で、彼は風呂敷などの日本的なプレゼントを用意しておいて、それを話題にして乗り切っていると聞いた。それ以来、千代紙などを用意して、折り紙で場をつながせて貰った。本当は、どういう話題が無難なのか、という文化理解をし、世間話に耐えられる語彙を駆使できれば良いのだが・・・。

* 横メシ：外国人との英語での会食のことを、横文字をもじって横メシという。

Online Communication #04

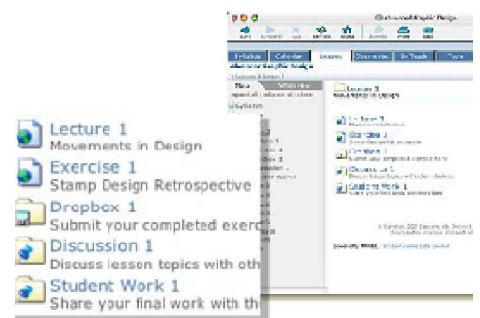
Virtual Learning Environment

VLE とは？

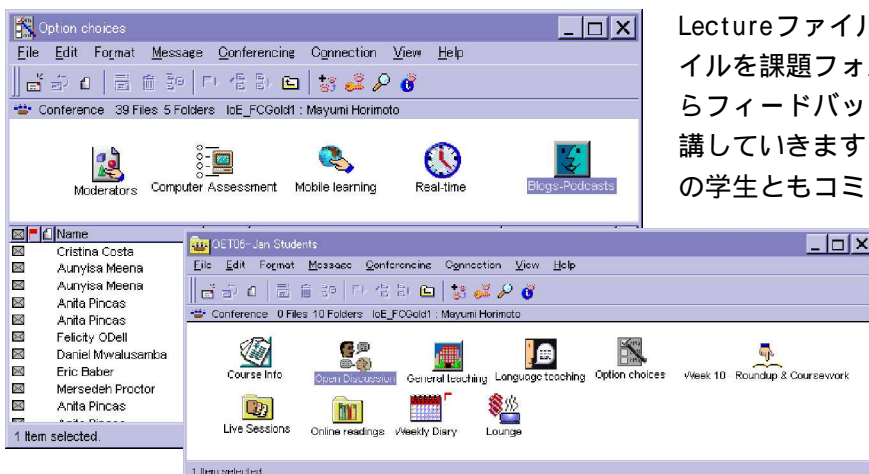
今回と次回は、これまでに私が受講したいいくつかの異なるタイプのオンラインコースの学習環境をご紹介します。今回は場所と日時を選ばない asynchronous learning のVLE (Virtual Learning Environment) です。

海外でよく知られているVLEには、本学でも情報処理センターで導入されているWebCTやBlackboard、オープンソースのMoodleなどがあり、受講者は教材ファイルの受け取りや掲示板・チャットでのコミュニケーション、成績確認などができます。教員側では、VLEの使用によって授業時間内は必要な教授内容に集中し、授業外に時間の束縛を受けずに、学生に自習させたり、ディスカッションなどを行わせることができます。また、社会人や県外、海外の学生を対象としたオンラインの遠隔教育を行おうとする場合、比較的円滑に開始することもできます。

私が以前に修了した sessions.edu というNYのデザイン学校のVLEは学校独自のものでした。受講者がブラウザ上で自分のページにログインすると、受講登録したコースの全教材ファイルが用意されています。プランに沿ってLectureファイルを読み、実習をして、自分の作成したファイルを課題フォルダに提出します。するとその後、教員からフィードバックが届きます。個別指導のような感覚で受講していきませんが、課題でdiscussionエリアに行くと、他の学生ともコミュニケーションできます。英語圏のオンライン学校では様々な国の人と出会えるのも醍醐味の一つです。



sessions.edu の学習画面



ioe で使用した FirstClass の画面

紹介など様々な機能がありますが、一見、アイコン表示のフォルダ機能がついている電子メールソフト、といったものです。教材や指示などは教員から添付ファイルで配布されますが、いくつかに分けられたグループ内で学生同士で意見交換をし、学びあうPeer Learningが基本です。そのため、毎日新着メールの山で、戸惑う受講生も少なくありませんでした。他グループのメールも読めますが、受講生総勢100名余りではなかなかその余裕もありません。学生同士、活発な意見交換が可能で充実している反面、レスポンスをもらう保障がないため、丁寧なmoderatingが必要と思われました。ボーダレス社会を睨み、英国でのオンライン教育は政策として重視されているようです。

* このコーナーで書ききれないエピソードやその他の役立つ情報を、語学センター学生用HPからリンクしている語学センターブログに掲載しています。

新センター長に宇野昌樹先生 就任



私の研究室は、国際学部棟の7階の運動場に近いところに位置している。通勤には車を利用しているが、その運動場の脇には駐車場があるので、何かと楽をさせてもらっている。ところが、語学センターはその逆で、国際学部の教員の中では最も遠くに位置していて、日頃研究室と講義室を往復するのを常とするような怠け者にとって、正直よっぽどのがない限り行くことはなかった。アラビア語という語学を教える身でありながらである。

この4月、語学センター長を仰せつかり、この間センターのスタッフの方々から施設のあらましを伺い、充実した施設状況や利用状況を知り、大いに驚いた次第である。しかしながら、設備や備品などが十分に調っていると言える状況ではなく、しかも教育現場にも情報化の波が押し寄せて、それに追いつくのもままならない状況である。利用する学生の皆さんや教員の方々の生の声を聞きつつ、センターの充実化を図って行く必要があるのではないかと考えている。

どうすればより利用し易い施設になるのか。また、どうすれば語学の習得により役立つ施設になるのか。加えて、英語以外の語学教育にはまだまだ上手く利用されていないように感じている。どうすれば上手く利用できるようになるのか。今後、可能であればアンケートなどを実施して、学生や教職員の皆さんの意見を伺いたいと考えている。その際には、ご協力のほど、お願いしたい。

掲示板

英語課外プログラム 授業期間に実施

平成10年度から始まった、英語の課外プログラム。昨年度からは、スピーキング&ライティングプログラムも新たに加わり、課外プログラムは年々、進化を遂げています。

今年度からは、これまで夏休み・春休みに実施していた課外プログラムを授業期間中(5/22～6/30)にも実施し、受講者は約50名に及んでいます。

そこで、現在プログラムを受講している、佐伯美保さん(国際学部4年生)にプログラムについてコメントをしてもらいました。



「授業期間のプログラムだと、学校に来る時が多いので、空き時間に取り組みやすいです。春休み課外インテンシブも受講しましたが、短期間ですべての課題を消化しなければいけないので、毎日課題をこなすのは大変でした。でも、受講後は達成できたことが自信につながり、英語をより積極的に使えるようになりました。」

佐伯さんは、昨年度行われたスピーキング&ライティングプログラムも受講し、英語で話すことが苦でなくなったと言います。彼女は、この課外プログラムを最大限に活用している学生の一人です。

今年度の夏休みには、「スーパーインテンシブ」と称する英語プログラムも実施予定。このプログラムの特徴は、これまでと同じ量の課題を1～2週間という短期間に凝縮して学習するという、まさに英語漬けのプログラム。やる気次第では、一気に英語力をアップさせることができるかもしれません。

この夏も、ますます、語学センターでの英語課外プログラムからは目が離せません。

英語のペーパーバックが自習室に登場

ハリーポッターなどの人気小説、エッセイなどのペーパーバックが7月から自習室に登場します。前回に紹介した、「はじめての」シリーズと同じ棚(自習室カウンター下)に出揃います。1ヶ月の貸出も予定しているので、まずはどんなタイトルがあるか見に来てください。パソコンを使わない自習室での自習にも役立てて下さい。

雑誌の貸出も行っています。(最新号を除く)

映画DVDも新たに13タイトル増えました!!



視察報告

- 4/28 安佐北中学校 84名
- 5/22 西南大学(中国重慶) 29名
- 5/22 瀬戸内高等学校 15名
- 6/22 安芸南高等学校 40名

* 中国重慶からの学生

視察風景



発行日 2006年7月3日
 発行 広島市立大学語学センター
 〒731-3194
 広島市安佐南区大塚東3-4-1
 編集 堀本真由美
 伊達美和子(内線:6410)
 Phone (082)830-1509
 Fax (082)830-1794
 E-mail lang@intl.hiroshima-cu.ac.jp
 ホームページ
<http://call.lang.hiroshima-cu.ac.jp/lang/index.html>